

| | | | | | |
|---|----------------|---------|-------------|-----|-----|
| 事務事業名 | 経営所得安定対策事業（戸別） | 事務事業No. | 40101000825 | 所属課 | 農林課 |
| (5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ | | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> 平成22年度に「戸別所得補償モデル対策事業」としてスタートした制度であるが、平成23年度は畑作も補助対象として「農業者戸別所得補償制度」として本格的に実施された。平成25年度からは「経営所得安定対策事業」に事業名が変更された。 | | | | | |
| (6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ | | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> 平成21年度までは、生産調整に協力してきた土地所有者に補助金を交付していたが、平成22年度からは、耕作者に補助金を交付する制度に変更された。そのため耕作者は、交付された補助金の一部を土地所有者に支払っている状況にある。 | | | | | |

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

| 評価項目 | |
|------|--|
| 現状維持 | ① 政策体系との整合性（この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？） <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ・国の政策事業であり、農業の振興に結びつく。 |
| | ② 公共関与の妥当性（なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？）（法定受託事業はその名称） <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ・国の政策事業であるため、行政が取りまとめるのが妥当である。 |
| 有効性 | ③ 成果の向上余地（成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？） <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ・販売価格と生産費の差額を直接支払う制度なので、向上の余地はない。 |
| | ④ 廃止・休止の成果への影響（事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？） <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ・事業が廃止された場合、農業経営が不安定になる。 |
| | ⑤ 類似事業との統廃合・連携の可能性（類似事業や統廃合の可能性はありますか？（市以外の取り組みも含む）） （他に手段がある場合）⇒ 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない ・類似事業はない。 |
| 効率性 | ⑥ 事業費・人件費の削減余地（成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？） <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ・必要最低限で実施している。 |
| | ⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地（事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？） <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である ・国の政策事業であり、公正・公平である。 |

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

| (1) 1次評価者としての評価結果 | | (2) 全体総括（振り返り、反省点） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|--------|---|----|----|--------|-----|--|--|----|----|----|------|--|--|---|---|----|--|---|---|---|
| ① 目的妥当性 ■ 適切 □ 見直し余地あり ② 有効性 ■ 適切 □ 見直し余地あり ③ 効率性 ■ 適切 □ 見直し余地あり ④ 公平性 ■ 適切 □ 見直し余地あり | ⇒ | ・経営所得安定対策の普及推進活動（説明会・広報資料作成）を行い、農業経営の安定確保と多面的機能を維持することができたので、今後も継続的に事業推進を行う。 ・全体的に農家の高齢化やそもそもの人口減等により、農家の数や市全体の耕作面積が減少傾向にある。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (3) 今後の事業の方向性 | | (4) 改革・改善による期待成果 （終了・廃止・休止の場合は記入不要） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <input type="checkbox"/> 終了 ■ 継続 <input type="checkbox"/> 廃止 □ 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う → <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 | | （複数回答可） <input type="checkbox"/> 目的の再設定 □ 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 □ 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる □ 連携ができる | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策 | | <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2">向上維持低下</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>向上維持</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table> | | 成果 | 向上維持低下 | コスト | | | 削減 | 維持 | 増加 | 向上維持 | | | ○ | × | 低下 | | × | × | × |
| 成果 | 向上維持低下 | コスト | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 削減 | 維持 | 増加 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 向上維持 | | | ○ | × | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 低下 | | × | × | × | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | (6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 ② | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

| | |
|---|---------------------------------------|
| (1) 課長評価 | (2) 部長確認及び評価（課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合） |
| 課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A：継続（現状維持） C：終了、廃止、休止 B：継続（改革改善を行う） D：2次評価へ提出 | 確認欄 <input type="checkbox"/> |